

あせらず落ち着いて学び 笑顔でつながり 頑張りすぎずに成長する 正しい判断力を持った勇気のある子どもの育成

今回の学校だよりは電子媒体で配信いたします。お子様への周知は各クラスの先生方に1枚カラー印刷で配付しまして教室に毎号掲示していただいております。

自分の記録にチャレンジする徹底反復朝学習

「イギスタイム」がスタート!

本日(4月14日<火>から、自分の脳を活性化させることを主たる目的としながら、徹底反復学習【音読・100ます計算(のちに1年生は10ます計算から)と全漢字(なれれば100秒漢字)]を朝学習の「イギスタイム」として年間通して実践していきます。(1年生はまだスタートしていません。2ページ目の写真は、学級裁量の安らかなひと時の様子です。)

徹底反復学習は、現在陰山ラボ代表であり、「早寝・早起き・朝ごはん」の提唱者でもあり、飯塚市の学力アドバイザーで、立命館大学教育開発推進機構教授や、内閣の諮問機関「教育再生会議」委員を歴任された陰山 英男(かげやま ひでお)先生が東北大学脳科学者川島隆太郎教授に価値づけされた「脳を目覚めさせ、1時間目の授業に効果的にスタートするための学習法」です。(飯塚市の19校すべてが実践されています。たとえば引越など飯塚市内ならば転校しても同じ教育が受けられます。)

初日ですが、学校内を回りながら自分の記録へのチャレンジしている子ども達のファイト精神を感じます。陰山英男先生とは縁あって20年間で10回ほどですが対談やご講話をさせていただきました。飯塚市内の子ども達が伸びているのは行政の協力と先生方の推進力で「自分のスピードの記録にチャレンジする意識が向いたから脳が活性化したのでしょう。かんちがいして他人と競争と思ひこんでいる子は伸びません。勘違いしている子は遅刻する一方ですから伸びるわけがないのです。まずは自分の記録にコツコツチャレンジするんだよ。と言

い続けてください。学力がすべてではないけれどキャリアや職業選択の幅も増えるのだからやはり脳の活性化は大切です。飯塚市の子ども達は福岡県内1位の学力をめざすなんて小さなこととは言わずに関東などの政令市といひ勝負なのではないですか？」と飯塚市の様々な統一した教育施策に、陰山先生は、子ども達や先生方や、保護者の皆様の教育への関心の高さに着目したるといひ見解を持たれていました。(本市はデータを集計し、統計も出しています。)

伊岐須小の子ども達も、この朝学習は「自分の記録へのチャレンジ」「自分の全漢字マスターのためのチャレンジ」ということがわかっていることから、遅刻も少ない気がします。私も教師は、今後、伊岐須小の子ども達の口から「徹底反復学習が友達との競争じゃないから計算する事や漢字おぼえるのが好き～」というつぶやきが1学期末にたくさんきかれることを願って指導していきます。P. 5 ①b 本日スタートの伊岐須タイムを本校の学力向上コーディネーターの竹田先生、指導方法工夫改善教員の青山先生、主幹教諭の森方先生、安田教頭先生をはじめ、すべての先生方が、知恵を絞って、1時間目の学習にいかにスムーズにスタートできるかをマイナーチェンジしながら笑顔で学校総体取り組んでまいります。ご家庭の皆様におかれましては「自己ベスト」学習であることにご理解いただき「早寝・早起き・朝ごはん」へのご協力と信じて見守っていただければ幸いです。P. 5 ② 飯塚市19校中とっても早く徹底反復学習に取り組んでいる気がします。5月中旬からスタートされるところもあっておりますので、本校の先生方の子ども達への教育愛は半端なく強いと感じます。「教育愛の強さ」をうれしく思います。(..)



自分の記録にチャレンジする徹底反復朝学習「イグスタイル」初日の様子です。みんなすばらしいです。

